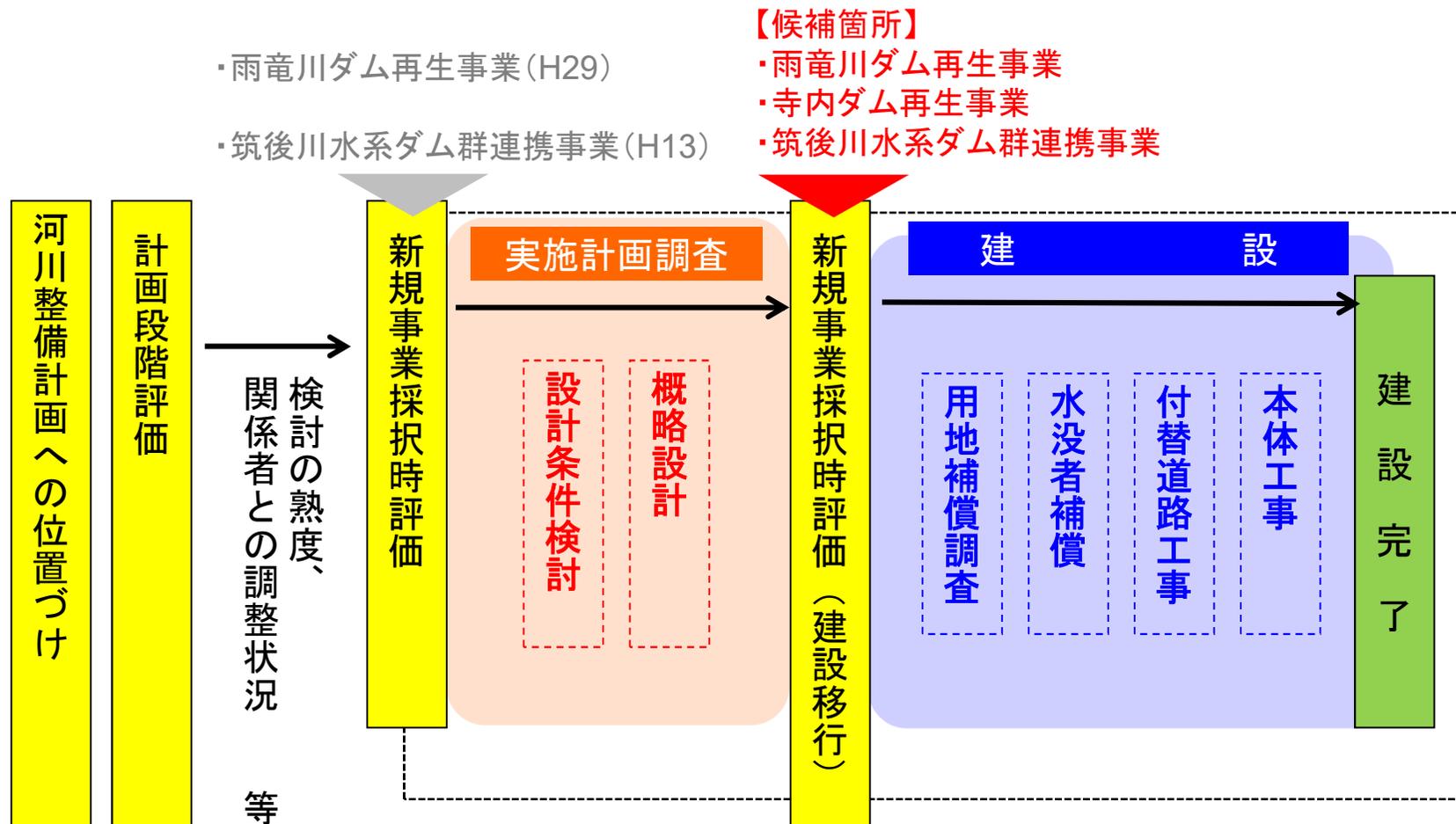


ダム建設事業の新規事業採択時評価候補箇所の 選定の考え方について

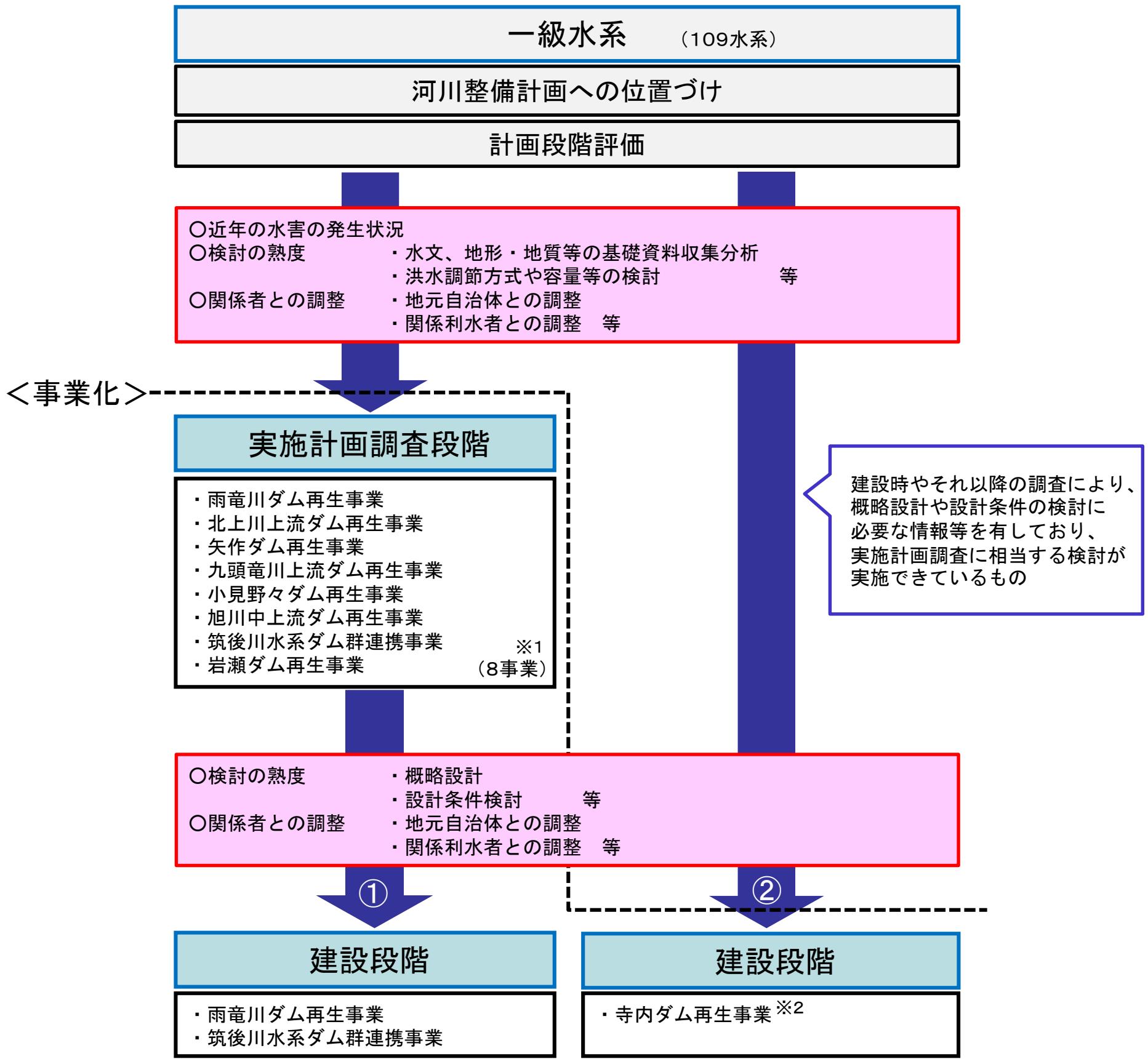
ダム事業の流れと新規事業採択時評価について

- 河川整備計画に位置づけられ、検討の熟度、関係者との調整状況等を踏まえて新規事業の候補箇所を選定。
- ダム事業については、実施計画調査の着手時点に加え、建設段階へ移行する際にも新規採択時評価を実施。



○雨竜川ダム再生事業、筑後川水系ダム群連携事業については、実施計画調査の中で、施設の構造や位置等の概略設計を行うとともに、関係者との調整が完了したことから、建設段階へ移行する。

○新たに事業に着手する寺内ダム再生事業については、建設時やそれ以降の調査により、概略設計や設計条件の検討に必要な情報等を有しており、実施計画調査に相当する検討を実施しているとともに、関係者との調整も完了したことから、建設段階から事業に着手する。



※1: 令和4年8月5日時点

※2: 「寺内ダム」については、建設時やそれ以降の調査により、設計条件の検討に必要な情報等を有していたため、実施計画調査を経ずに、建設段階に着手

令和5年度 (建設段階)	新規事業候補箇所	雨竜川ダム再生事業 (①)	筑後川水系ダム群連携事業 (①)
		寺内ダム再生事業 (②)	